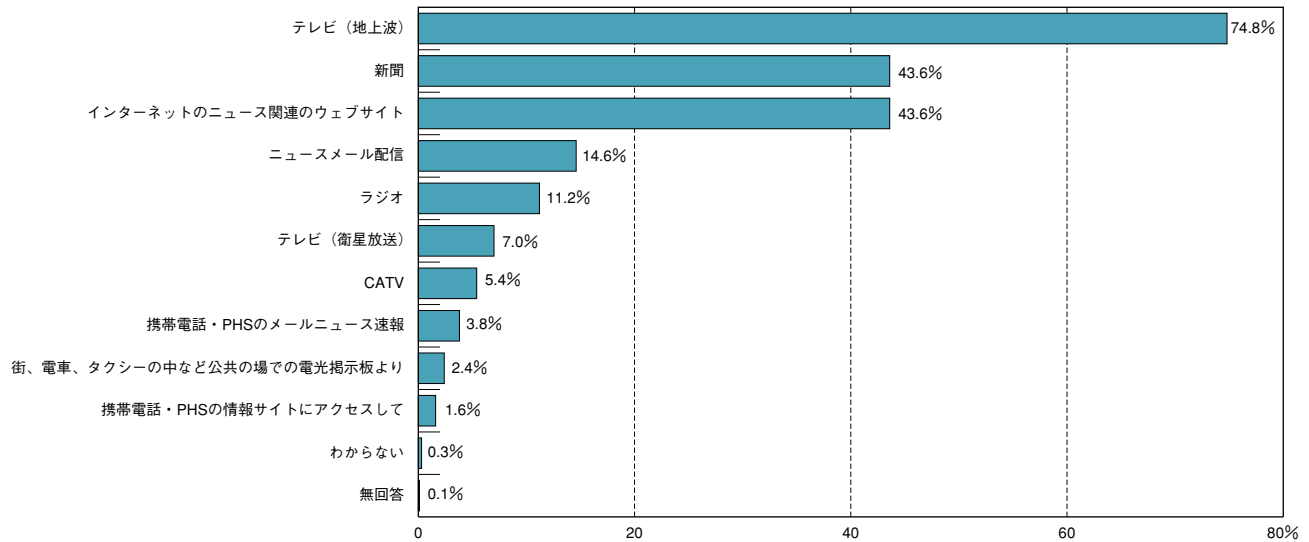


ニュースサイト

ニュースは地上波、速報性でインターネットも肉薄

資料2-4-5 ニュースを手に入れるために利用頻度の高いメディア N=2,742

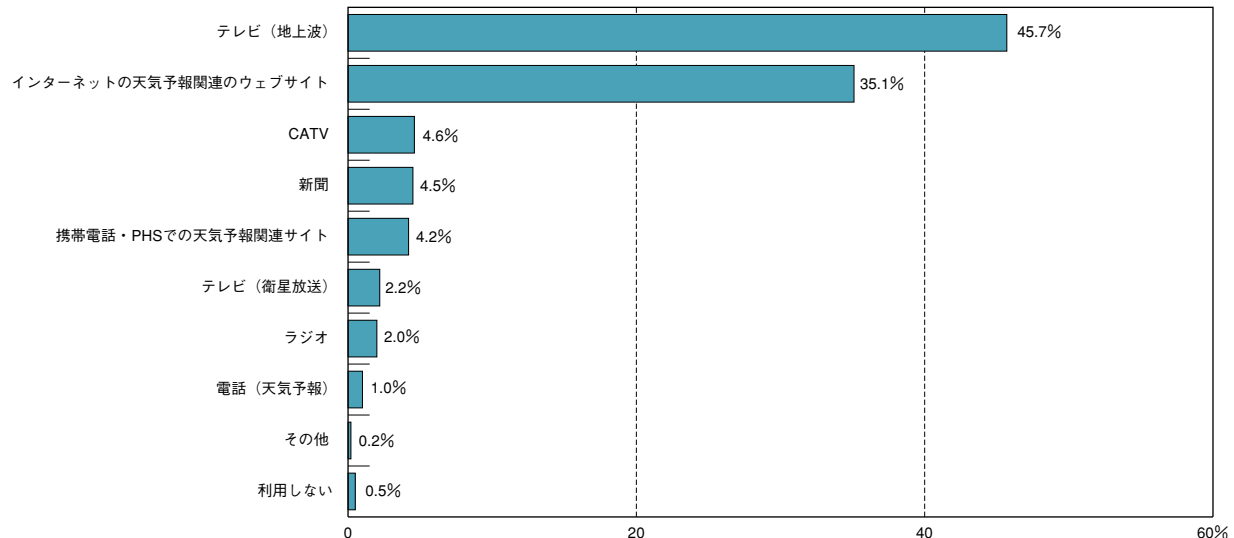


©Access Media/impress,2003

一般ニュースを手に入れるため利用頻度の高いメディアとしては地上波と回答した人が最も多い。その次に新聞とインターネットがほぼ同数で並んでいるのは、速報性と信頼性の獲得、ブロードバンドの普及で接触率が高まったためだと考えられる。

能動的な情報アクセスでウェブ気象情報が人気

資料2-4-6 天気予報を調べるために最もよく利用するメディア N=2,742



©Access Media/impress,2003

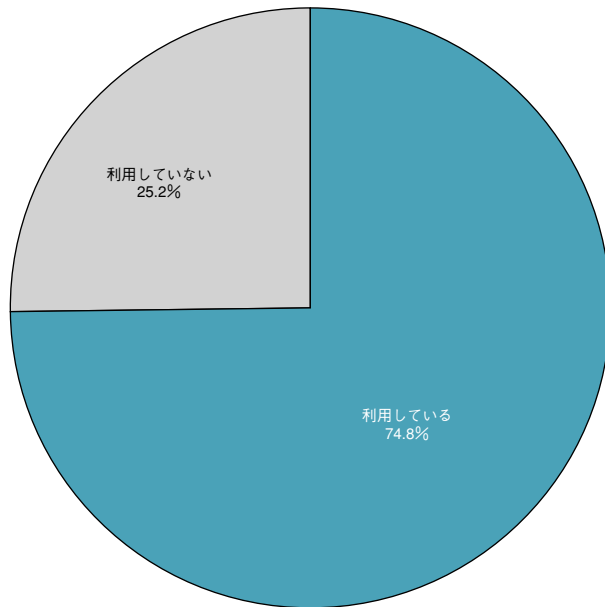
天気予報になると、地上波とインターネットでは10%の差しかない。定時のテレビ天気予報と、能動的にアクセスできる気象情報ウェブサイトを使い分けていることが考えられる。気象専門チャンネルを持つCATV、新聞、ケータイサイトは拮抗。

インターネット白書 / ©1996-2012 Impress R&D

【ニュースサイト】

74.8%がニュースサイトを利用

資料2-4-7 インターネットニュースサイトの利用有無 N=2,742

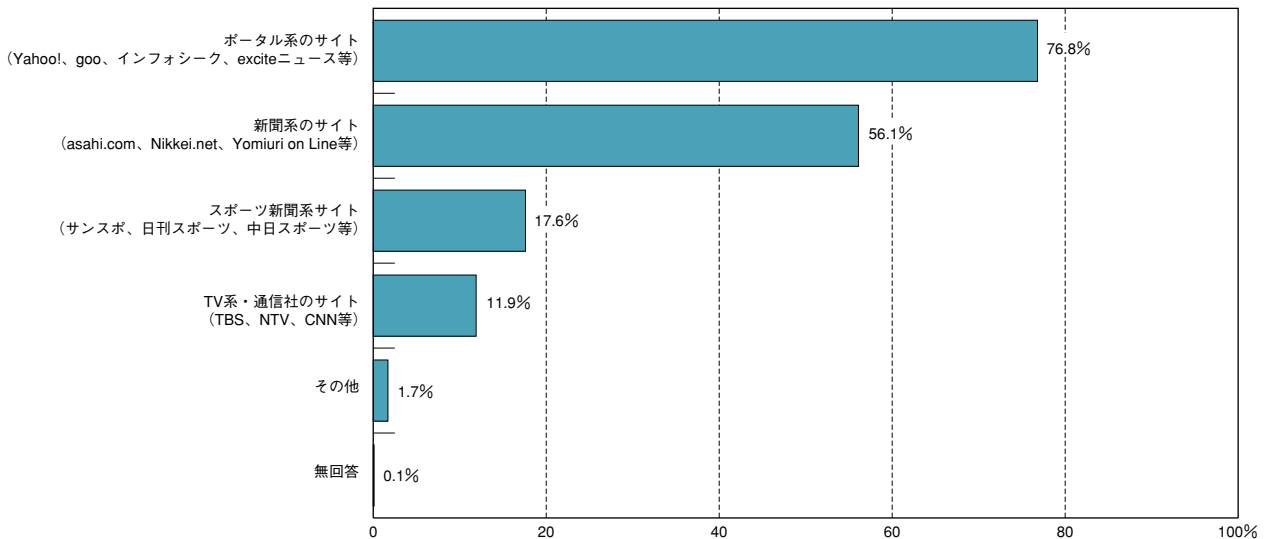


©Access Media/impress,2003

インターネット利用者の74.8%が何らかの形でインターネットを通じてニュースを見ている。能動的検索、ポータルサイトを通じた受動的視聴のいずれにせよ、インターネットにおけるニュースの視聴はすでに定着しているといえる。

ポータルサイトのニュースサービスが新聞系サイトに勝つ

資料2-4-8 よく利用するインターネットのニュースサイト N=2,050



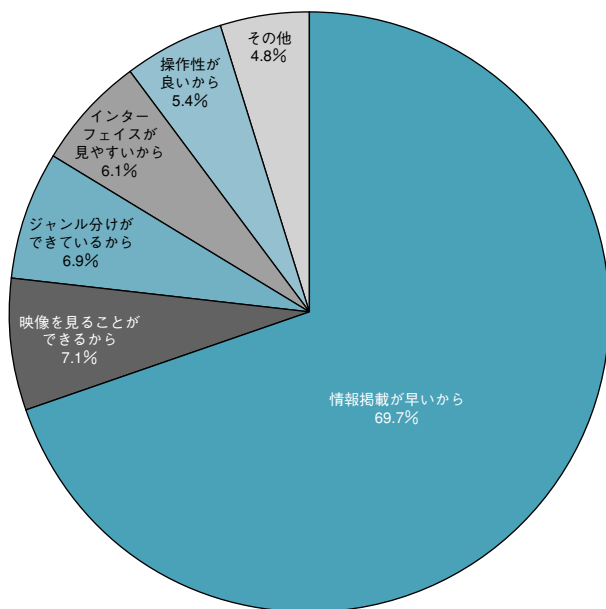
©Access Media/impress,2003

ポータルサイトが通信社などのニュースサービスと提携していることにより、検索ポータルのトップページでニュースに接するユーザーが多い。ここで各ニュースに興味を持ったときにはじめて、各新聞社系サイトへと流れていく動きもうかがえる。

ニュースサイト

情報掲載の「早さ」でニュースサイトを選択

資料2-4-9 ニュースサイト選択の際に重視する主な理由 N=2,050



©Access Media/impress,2003

ニュースサイトをどういう観点から選んでいるかを聞いた。新聞より速報性で勝るインターネットのメディア特性を、ユーザーとサービス提供者の両方が知っており、充分にその特性を利用・享受していることがわかる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp